

| | |
|-------------|-------------------------|
| Syllabus Id | Syl.-062534 |
| Subject Id | Sub-062-004060 |
| 更新履歴 | 060327 |
| 授業科目名 | 総合英語A General English A |
| 担当教員名 | 能登路純子 (NOTOJI Junko) |
| 対象クラス | 電気電子工学科4年生 |
| 単位数 | 2履修単位 |
| 必修/選択 | 必修 |
| 開講時期 | 通年 |
| 授業区分 | 語学 |
| 授業形態 | 講義と演習 |
| 実施場所 | E4HR |

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英語が国際的な意思伝達に必須の言語媒体となっている現状をふまえ、本講義では、高校卒業程度の英語を土台にして、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能を総合的に発展させていく。特に、4技能の中でもリーディングを重視した実践的なコミュニケーション能力の育成を目的とする活動を多く取り入れる。授業では速読の力をつけながら、IDIOMの確認もし、リスニングにも挑戦する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の英語の学力

| 学習・教育目標 | Weight | 目標 |
|--------------------------------|--------|---------------------------------------|
| | | A |
| | B | 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成 |
| | C | 工学専門知識の創造的活用能力の養成 |
| | ◎ | D 国際的な受信・発信能力の養成 |
| | E | 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成 |
| D.英語を使用した実践的なコミュニケーション能力を育成する。 | | |

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 英検2級程度の英語の長文を速読して、内容を把握することができる。
2. 英検2級程度の英文を聞いて、大意が理解できる。
3. 英検2級程度の総合問題が8割程度理解できるようになる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

| 回 | メインテーマ | サブテーマ | 参観 |
|------|-------------|---|----|
| 第1回 | 前期オリエンテーション | プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明 | |
| 第2回 | Unit 1 | 文章の流れをつかみながら、なるべく短時間で内容を読み取っていく「速読力」を身につける演習 | |
| 第3回 | Unit 2 | | |
| 第4回 | Unit 3 | | |
| 第5回 | Unit 4 | ・READING COMPREHENSION (英問英答による理解度チェック) と LISTENING COMPREHENSION (要約の数箇所をリスニングで聞き取る) でテキストの内容を確認し、重要なVOCABULARYとIDIOMSも確認する。 | |
| 第6回 | Unit 5 | | |
| 第7回 | まとめ1 | Unit 1~Unit 5 についての質疑応答 | |
| 第8回 | 前期中間試験 | まとめと考察 | × |
| 第9回 | Unit 6 | 文章の流れをつかみながら、なるべく短時間で内容を読み取っていく「速読力」を身につける演習 | |
| 第10回 | Unit 7 | | |
| 第11回 | Unit 8 | | |
| 第12回 | Unit 9 | ・READING COMPREHENSION (英問英答による理解度チェック) と LISTENING COMPREHENSION (要約の数箇所をリスニングで聞き取る) でテキストの内容を確認し、重要なVOCABULARYとIDIOMSも確認する。 | |
| 第13回 | Unit 10 | | |
| 第14回 | まとめ2 | Thin and Flexible | |
| 第15回 | 前期期末試験 | Unit 6~Unit 10 についての質疑応答 | × |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 第16回 | 後期オリエンテーション | プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明 | |
| 第17回 | Unit 11 | 文章の流れをつかみながら、なるべく短時間で内容を読み取っていく「速読力」を身につける演習 ・READING COMPREHENSION (英問英答による理解度チェック) と LISTENING COMPREHENSION (要約の数箇所をリスニングで聞き取る) でテキストの内容を確認し、重要なVOCABULARYとIDIOMSも確認する。 | |
| 第18回 | Unit 12 | | |
| 第19回 | Unit 13 | | |
| 第20回 | Unit 14 | | |
| 第21回 | Unit 15 | | |
| 第22回 | まとめ3 | Unit 11～Unit 15 についての質疑応答 | |
| 第23回 | 後期中間試験 | まとめと考察 | × |
| 第24回 | Unit 16 | 文章の流れをつかみながら、なるべく短時間で内容を読み取っていく「速読力」を身につける演習 ・READING COMPREHENSION (英問英答による理解度チェック) と LISTENING COMPREHENSION (要約の数箇所をリスニングで聞き取る) でテキストの内容を確認し、重要なVOCABULARYとIDIOMSも確認する。 | |
| 第25回 | Unit 17 | | |
| 第26回 | Unit 18 | | |
| 第27回 | Unit 19 | | |
| 第28回 | Unit 20 | | |
| 第29回 | まとめ4 | Unit 16～Unit 20 についての質疑応答 | |
| 第30回 | 後期末試験 | まとめと考察 | × |
| 課題 | | | |
| 出典:各Unitの予習(内容については授業中に指示) | | | |
| 提出期限:出題した次の授業の授業開始前まで | | | |
| 提出場所:教室の教卓上に提出 | | | |
| オフィスアワー:授業の前後 | | | |
| 評価方法と基準 | | | |
| 評価方法: | | | |
| 定期試験および復習テストは教科書からの出題とする。復習テストは、それぞれの定期試験の間に、事前に範囲や内容を予告し、授業内に計4回、実施する。課題については提出や内容だけでなく、授業中に指名したときの解答によっても評価する。 | | | |
| 評価基準: | | | |
| ① 課題提出・授業中の解答・授業態度・学習意欲等 - 30% | | | |
| ② 定期試験(計400点)・復習テスト(計200点) - 70% | | | |
| 教科書等 | 『Intermediate Faster Reading (Revised Edition)』 Casey Malarcher / Akira Morita / Shinichi Harada (成美堂) 1,700円+税 | | |
| 先修科目 | 総合英語A、総合英語B、英語W、英語C | | |
| 関連サイトのURL | http://cocet.nime.ac.jp/ COCET3300 | | |
| 授業アンケートへの対応 | 板書をわかりやすく丁寧にするように心掛ける。 | | |
| 備考 | 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 | | |